

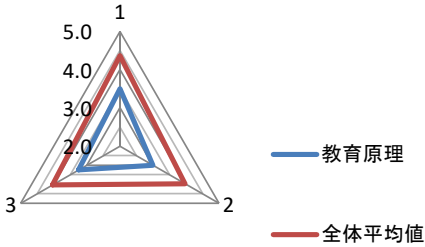
# 平成30年度第2学年前期「教育原理」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
4	4	100%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

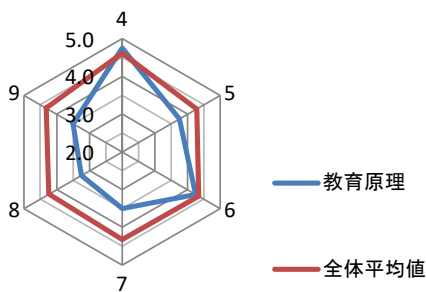
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	教育原理	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	3.5	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	3.0	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.3	4.0	3.3	5.0

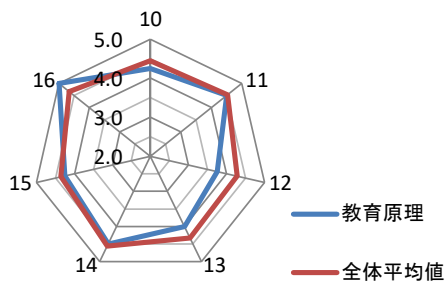
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	教育原理	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.8	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	3.5	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	3.3	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	3.5	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	教育原理	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.5	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.8	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.5	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.3	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	5.0	4.7	4.4	5.0

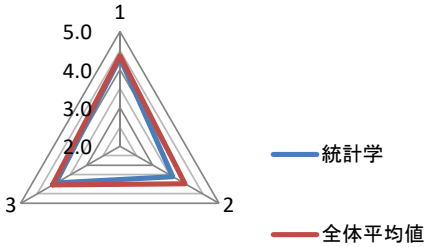
# 平成30年度第2学年前期「統計学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	91	95%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

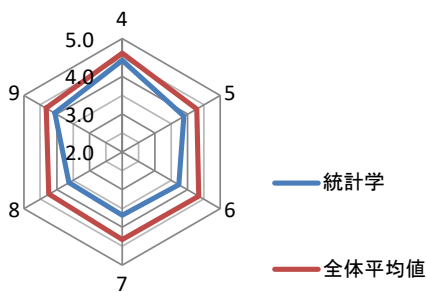
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	統計学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.3	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	3.6	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.9	4.0	3.3	5.0

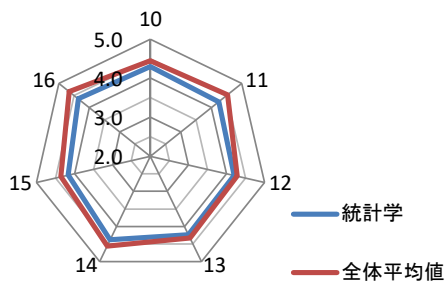
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	統計学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.4	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.9	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.7	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	3.7	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	3.6	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.1	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	統計学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.2	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.2	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.4	4.7	4.4	5.0

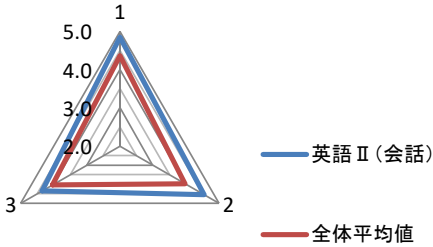
# 平成30年度第2学年前期「英語Ⅱ(会話)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
20	20	100%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

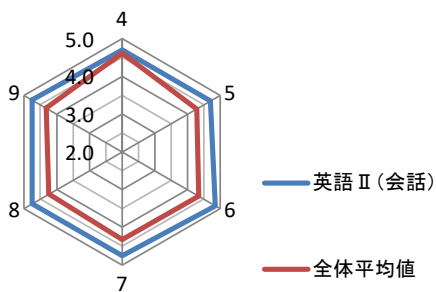
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	英語Ⅱ(会話)	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.9	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.4	4.0	3.3	5.0

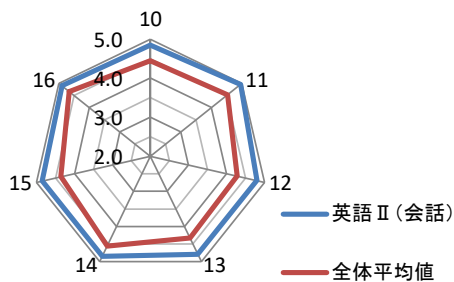
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	英語Ⅱ(会話)	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.8	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.8	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	英語Ⅱ(会話)	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	5.0	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.9	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.9	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.9	4.7	4.4	5.0

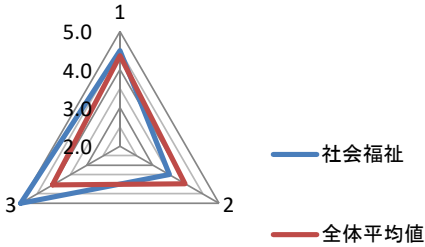
# 平成30年度第2学年前期「社会福祉」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
2	2	100%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

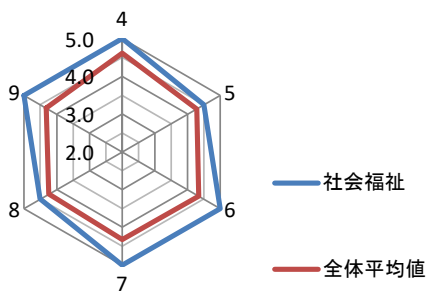
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	社会福祉	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	3.5	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	5.0	4.0	3.3	5.0

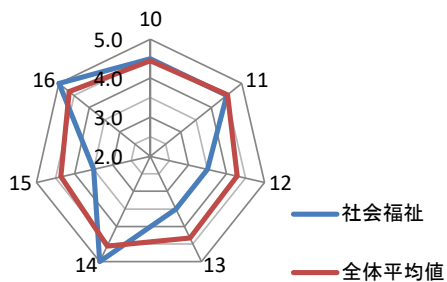
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	社会福祉	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	5.0	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.5	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	5.0	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	社会福祉	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.5	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.5	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	3.5	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	5.0	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	3.5	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	5.0	4.7	4.4	5.0

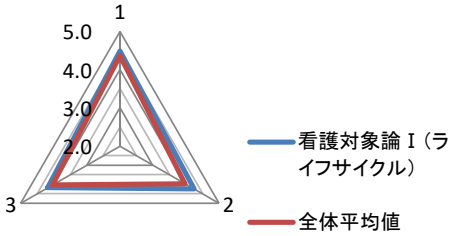
# 平成30年度第2学年前期「看護対象論 I (ライフサイクル)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	94	98%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

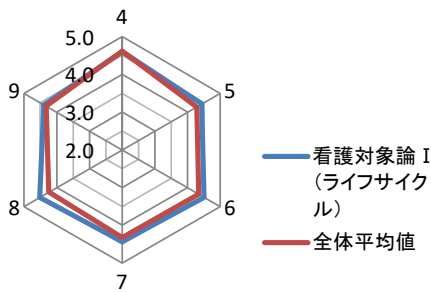
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護対象論 I (ライフサイクル)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.2	4.0	3.3	5.0

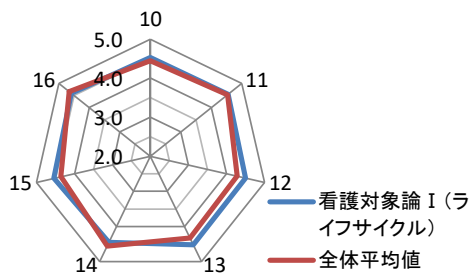
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	看護対象論 I (ライフサイクル)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.5	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.4	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護対象論 I (ライフサイクル)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.5	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.5	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.5	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.7	4.4	5.0

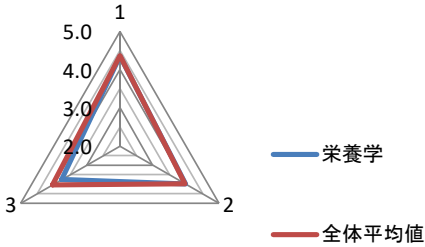
# 平成30年度第2学年前期「栄養学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	89	94%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

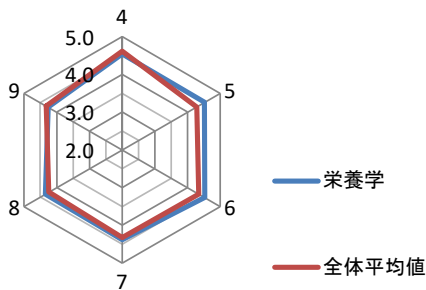
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	栄養学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.4	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.8	4.0	3.3	5.0

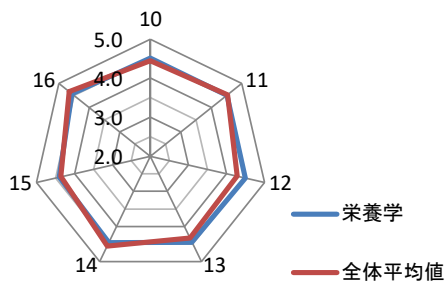
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	栄養学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.3	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.3	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	栄養学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.5	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.5	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.4	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.7	4.4	5.0

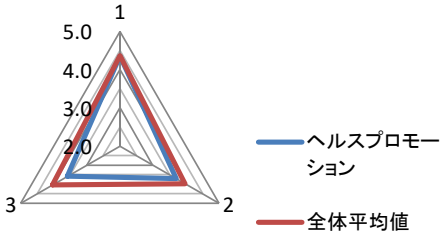
# 平成30年度第2学年前期「ヘルスプロモーション」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	94	99%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

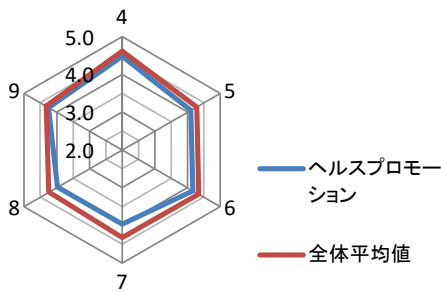
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	ヘルスプロモーション	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.4	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	3.7	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.6	4.0	3.3	5.0

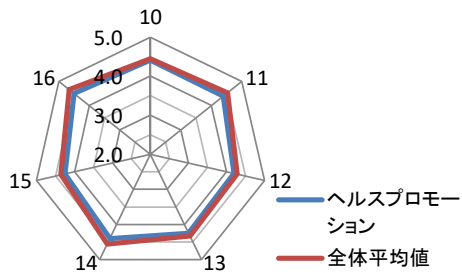
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	ヘルスプロモーション	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.1	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.2	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.0	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.0	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.3	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	ヘルスプロモーション	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.4	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.3	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.5	4.7	4.4	5.0

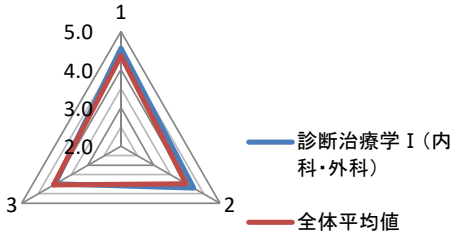
# 平成30年度第2学年前期「診断治療学Ⅰ（内科・外科）」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
98	92	94%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

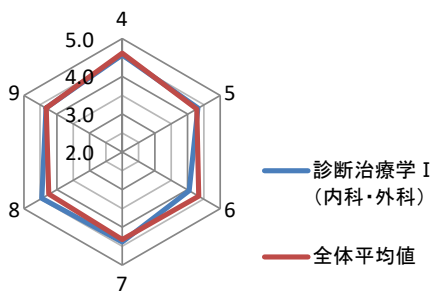
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	診断治療学Ⅰ(内科・外科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.6	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.0	4.0	3.3	5.0

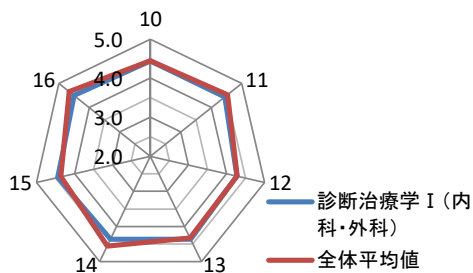
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	診断治療学Ⅰ(内科・外科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.1	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.5	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.3	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	診断治療学Ⅰ(内科・外科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.4	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.4	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.5	4.7	4.4	5.0



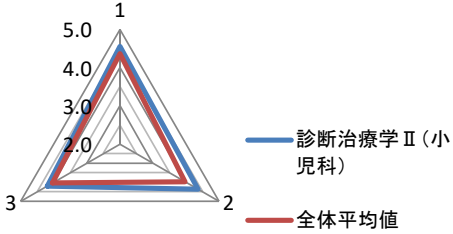
# 平成30年度第2学年前期「診断治療学Ⅱ（小児科）」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
103	99	96%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

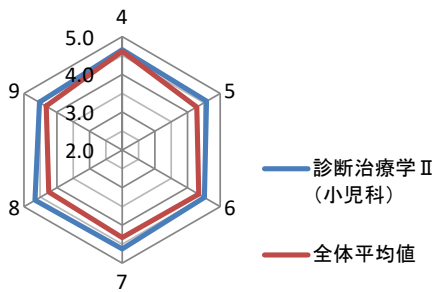
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	診断治療学Ⅱ(小児科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.6	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.4	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.2	4.0	3.3	5.0

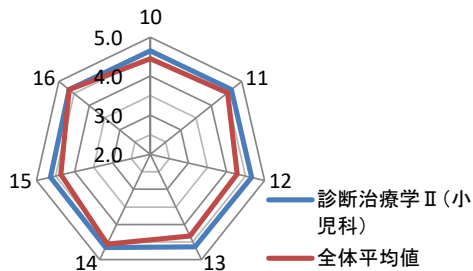
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	診断治療学Ⅱ(小児科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.7	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.5	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	診断治療学Ⅱ(小児科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.6	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.7	4.7	4.4	5.0

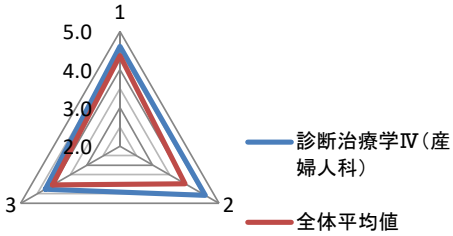
# 平成30年度第2学年前期「診断治療学Ⅳ(産婦人科)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
103	96	93%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

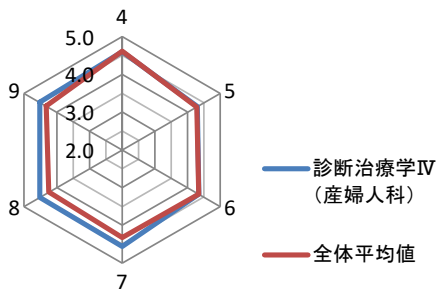
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	診断治療学Ⅳ(産婦人科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.6	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.3	4.0	3.3	5.0

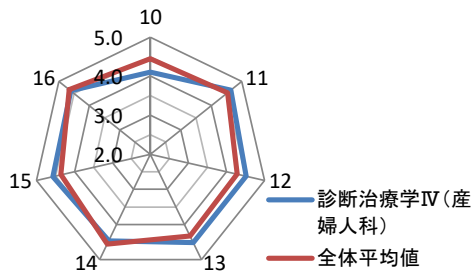
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	診断治療学Ⅳ(産婦人科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.5	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.5	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	診断治療学Ⅳ(産婦人科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.1	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.5	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.6	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.7	4.4	5.0

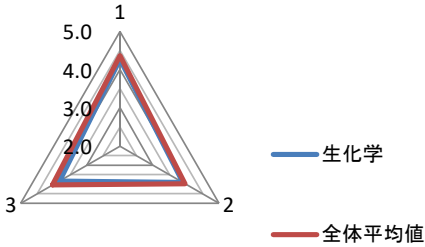
# 平成30年度第2学年前期「生化学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	91	96%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

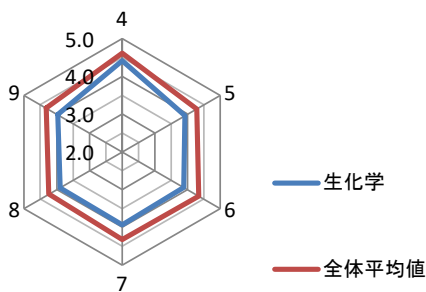
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生化学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.3	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.8	4.0	3.3	5.0

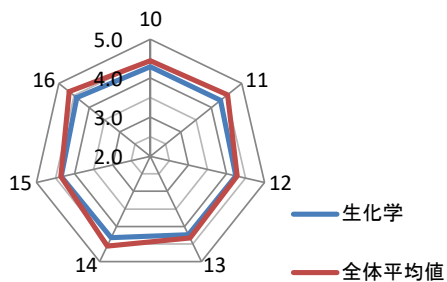
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	生化学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.4	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.9	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.9	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	3.9	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	3.9	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.0	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生化学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.3	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.3	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.3	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.4	4.7	4.4	5.0

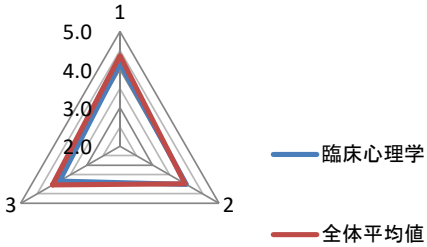
# 平成30年度第2学年前期「臨床心理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	86	90%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

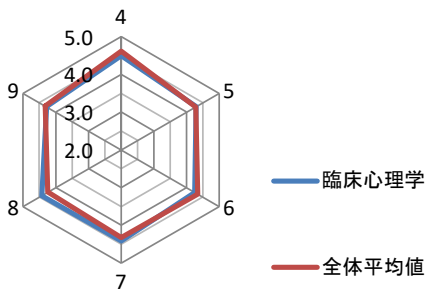
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	臨床心理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.2	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.8	4.0	3.3	5.0

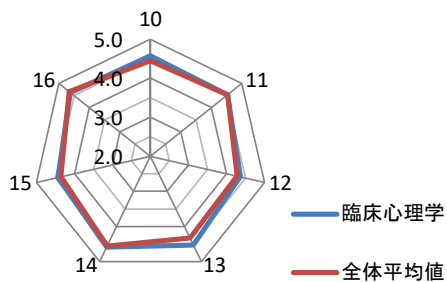
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	臨床心理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.4	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.3	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	臨床心理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.5	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.6	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.4	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.7	4.4	5.0

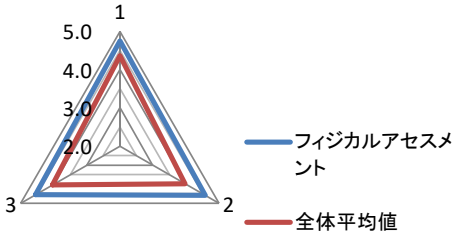
# 平成30年度第2学年前期「フィジカルアセスメント」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	92	96%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

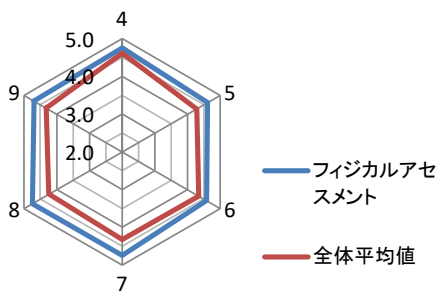
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	フィジカルアセスメント	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.8	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.6	4.0	3.3	5.0

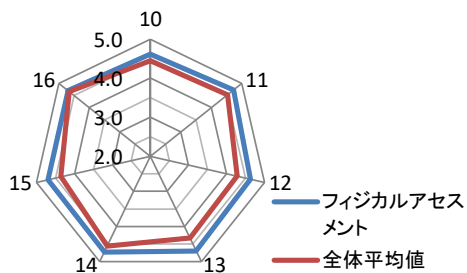
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	フィジカルアセスメント	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.7	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.7	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	フィジカルアセスメント	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.7	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.7	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.7	4.7	4.4	5.0

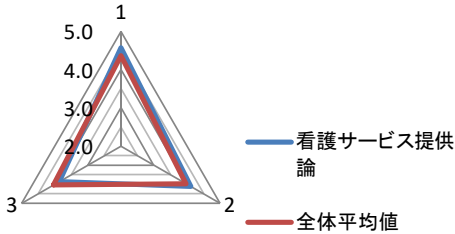
# 平成30年度第2学年前期「看護サービス提供論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	95	99%

実施時期(平成30年5月22日～平成30年7月27日)

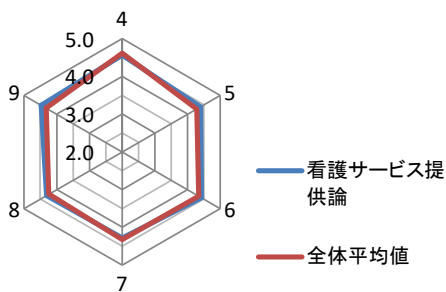
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護サービス提供論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.6	4.4	3.5	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.0	3.0	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.9	4.0	3.3	5.0

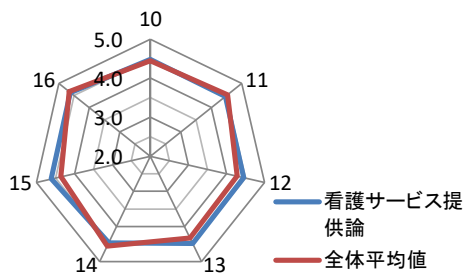
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	看護サービス提供論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.6	4.4	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.3	3.8	4.7
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.4	4.3	3.7	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.3	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.3	4.2	3.3	4.8
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた	4.5	4.3	3.5	5.0

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護サービス提供論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	4.1	4.9
11 教員の熱意が伝わった。	4.5	4.5	4.2	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.5	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.5	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.5	4.6	4.3	5.0
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.6	4.4	3.5	4.9
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.7	4.4	5.0

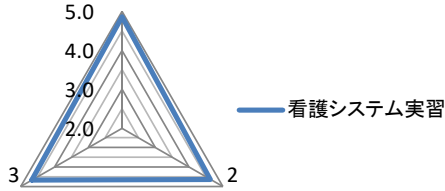
# 平成29年度第2学年前期「看護システム実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	94	98%

実施時期(平成29年5月23日～平成29年7月20日)

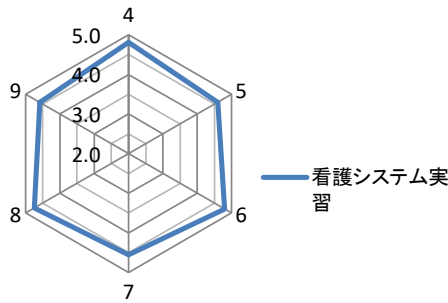
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護システム実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ	4.9	4.5	3.9	5.0
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.1	2.9	5.0
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.7	3.9	2.4	5.0

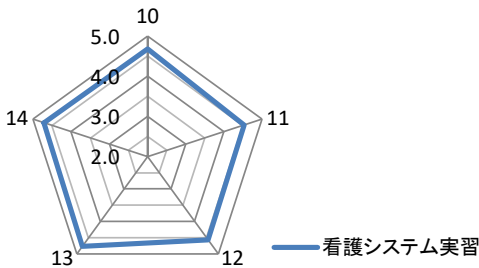
## 問2. 授業内容について



## 問2. 実習内容について

	看護システム実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 学習目標を達成するために多くの学修体験が得られた。	4.8	—	—	—
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.6	—	—	—
6 実習記録は学修を深める上で効果的であった。	4.8	—	—	—
7 課せられた実習記録や課題の量は適切であった。	4.6	—	—	—
8 看護への興味や関心が高まった。	4.7	—	—	—
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.6	—	—	—

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護システム実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.7	—	—	—
11 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.5	—	—	—
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.6	—	—	—
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.8	—	—	—
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	4.7	—	—	—

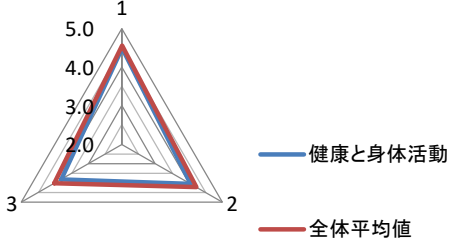
# 平成30年度第2学年後期「健康と身体活動」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	37	39%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

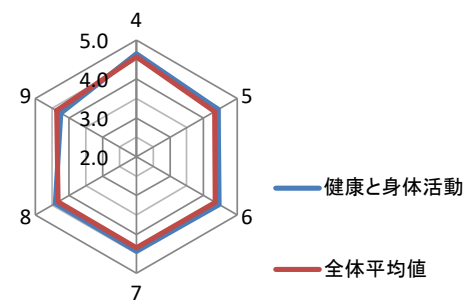
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	健康と身体活動	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.8	4.0	3.6	4.4

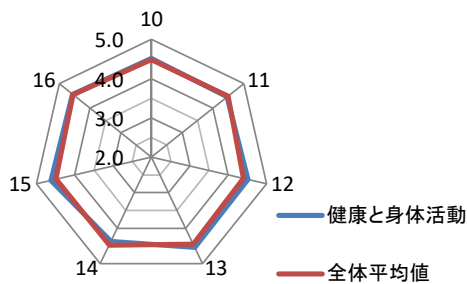
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	健康と身体活動	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.2	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	健康と身体活動	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.5	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.6	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.6	4.0	4.8



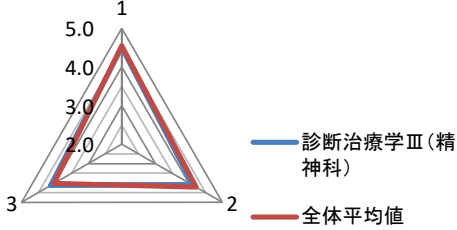
# 平成30年度第2学年後期「診断治療学Ⅲ(精神科)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	77	82%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

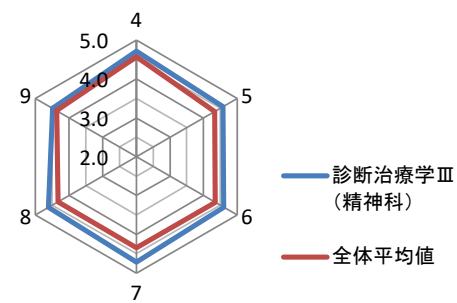
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	診断治療学Ⅲ(精神科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.1	4.0	3.6	4.4

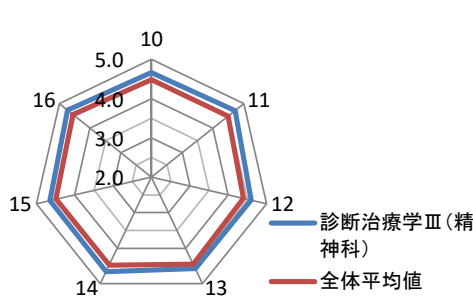
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	診断治療学Ⅲ(精神科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	診断治療学Ⅲ(精神科)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.7	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.6	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.7	4.6	4.0	4.8

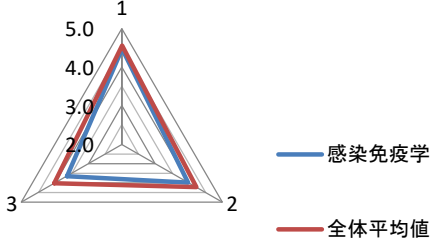
# 平成30年度第2学年後期「感染免疫学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	65	68%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

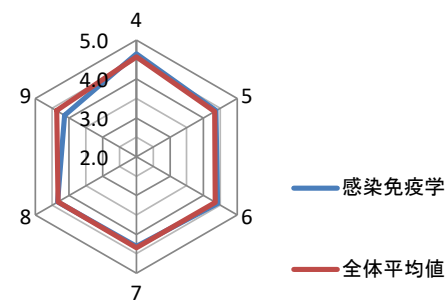
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	感染免疫学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.6	4.0	3.6	4.4

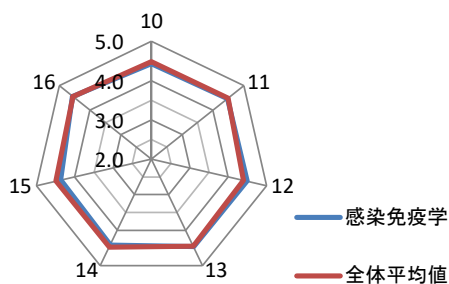
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	感染免疫学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.4	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.1	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	感染免疫学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.5	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.4	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.6	4.0	4.8

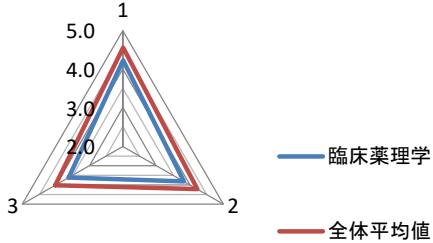
# 平成30年度第2学年後期「臨床薬理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
		#DIV/0!

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

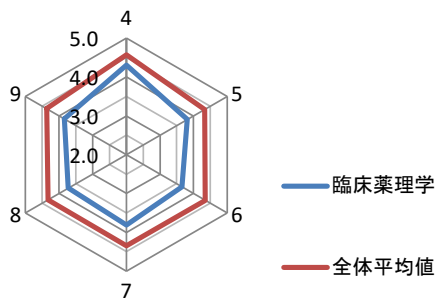
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	臨床薬理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.2	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	3.8	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.6	4.0	3.6	4.4

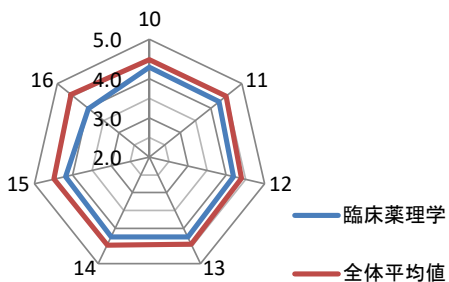
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	臨床薬理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.3	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.8	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.7	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	3.8	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	3.7	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	3.8	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	臨床薬理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.3	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い及び内容が適切であった。	4.2	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い及び内容が適切であった。	4.2	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.2	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.2	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.0	4.6	4.0	4.8

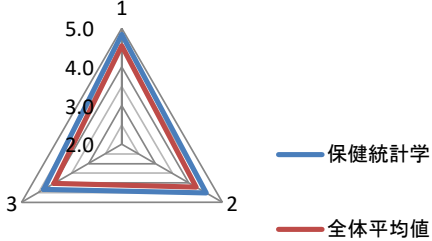
# 平成30年度第2学年後期「保健統計学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
97	61	63%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

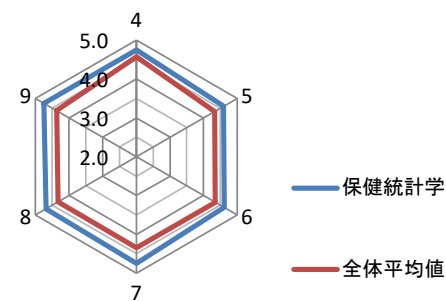
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	保健統計学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.8	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.3	4.0	3.6	4.4

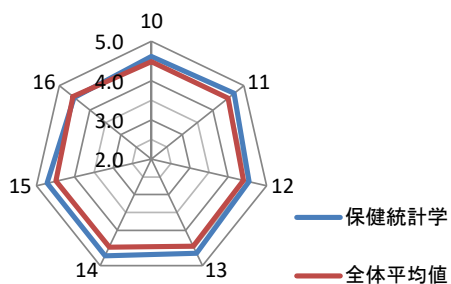
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	保健統計学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	保健統計学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.7	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.7	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.5	4.6	4.0	4.8

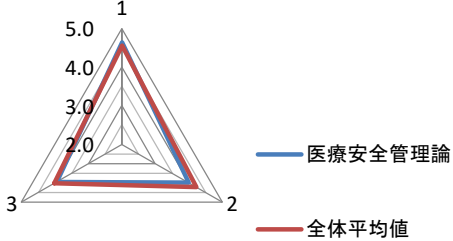
# 平成30年度第2学年後期「医療安全管理論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	19	20%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

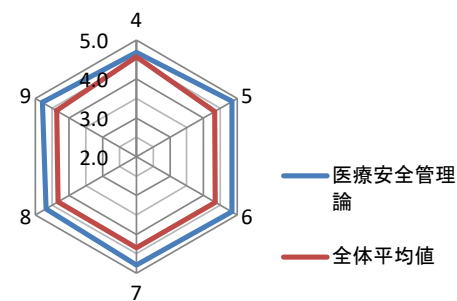
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	医療安全管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.6	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.9	4.0	3.6	4.4

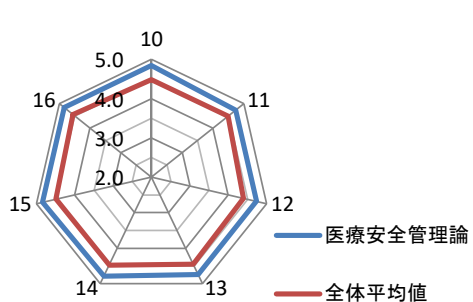
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	医療安全管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	医療安全管理論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.7	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.8	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.8	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.8	4.6	4.0	4.8

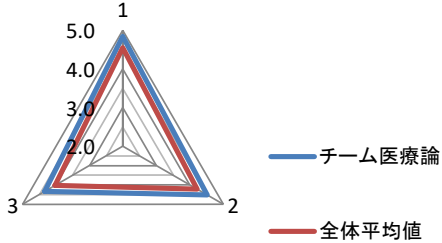
# 平成30年度第2学年後期「チーム医療論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	83	88%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

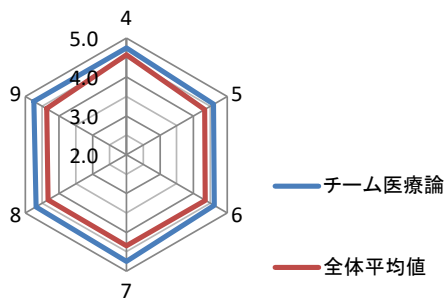
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	チーム医療論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.8	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.3	4.0	3.6	4.4

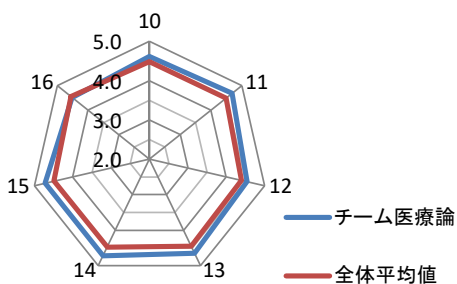
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	チーム医療論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	チーム医療論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.7	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.7	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.5	4.6	4.0	4.8

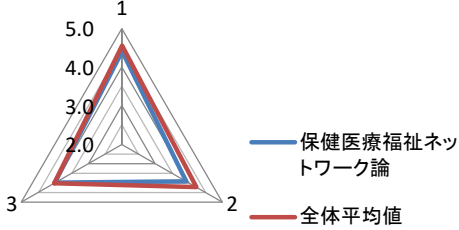
# 平成30年度第2学年後期「保健医療福祉ネットワーク論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
93	59	63%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

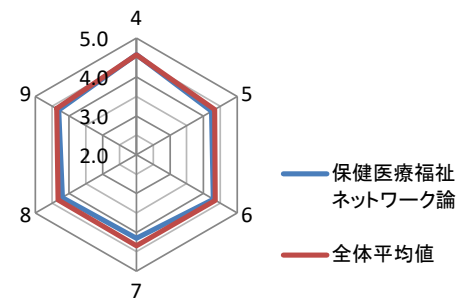
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	保健医療福祉ネットワーク論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.4	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.0	4.0	3.6	4.4

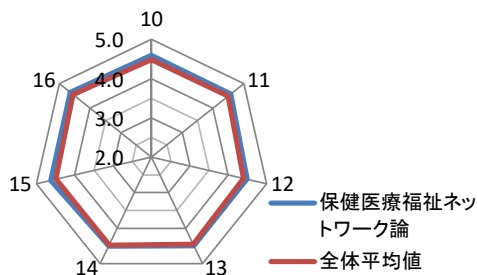
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	保健医療福祉ネットワーク論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.2	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.2	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.2	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	保健医療福祉ネットワーク論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.5	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.6	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.6	4.0	4.8

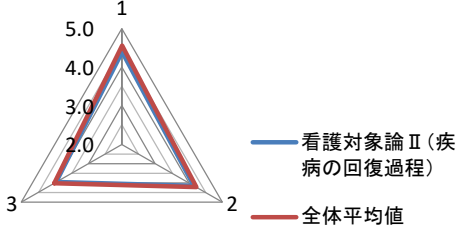
# 平成30年度第2学年後期「看護対象論Ⅱ（疾病の回復過程）」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	52	54%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

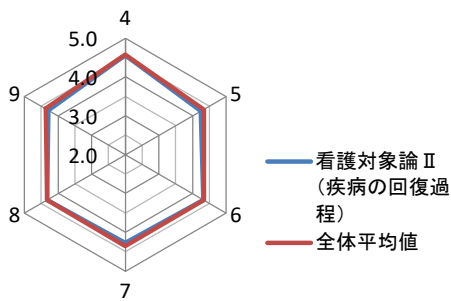
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護対象論Ⅱ (疾病の回復過程)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.4	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.0	4.0	3.6	4.4

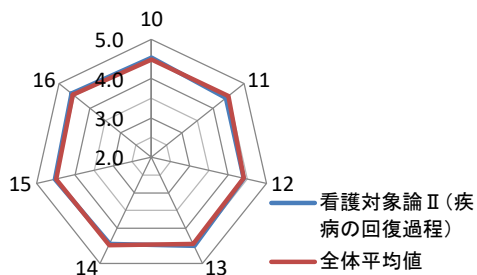
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	看護対象論Ⅱ (疾病の回復過程)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護対象論Ⅱ (疾病の回復過程)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.4	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.5	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.6	4.0	4.8



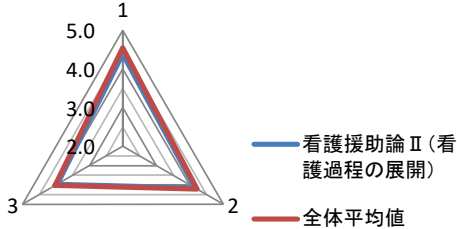
平成30年度第2学年後期「看護援助論Ⅱ（看護過程の展開）」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	59	63%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

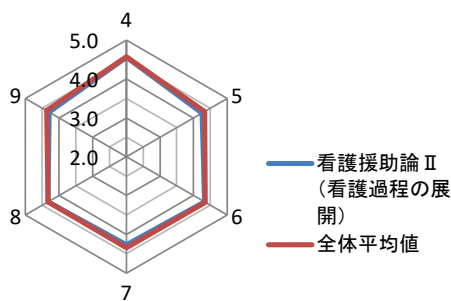
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護援助論Ⅱ (看護過程の展開)	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.4	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.0	4.0	3.6	4.4

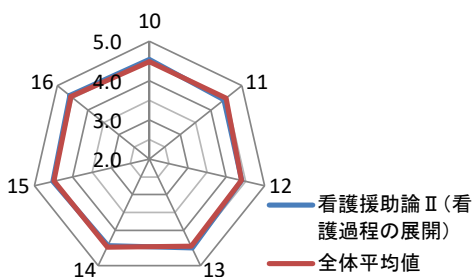
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護援助論Ⅱ (看護過程の展開)	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.4	3.7	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護援助論Ⅱ (看護過程の展開)	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.4	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.5	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.6	4.0	4.8

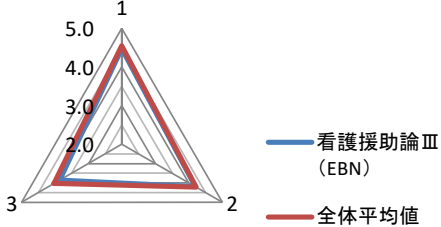
# 平成30年度第2学年後期「看護援助論Ⅲ (EBN)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	78	83%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

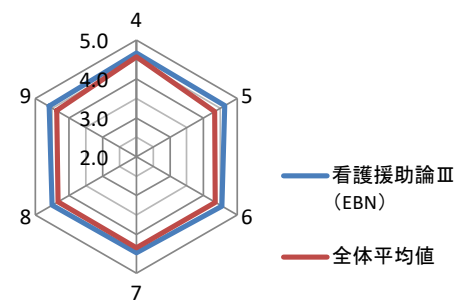
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護援助論Ⅲ (EBN)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.9	4.0	3.6	4.4

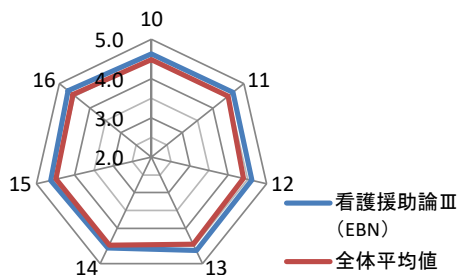
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	看護援助論Ⅲ (EBN)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護援助論Ⅲ (EBN)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.6	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.6	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.7	4.6	4.0	4.8

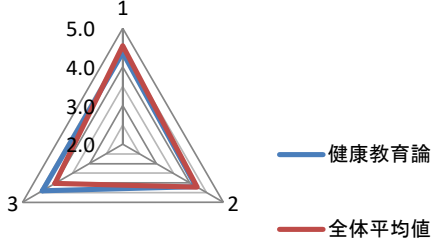
# 平成30年度第2学年後期「健康教育論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	27	29%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

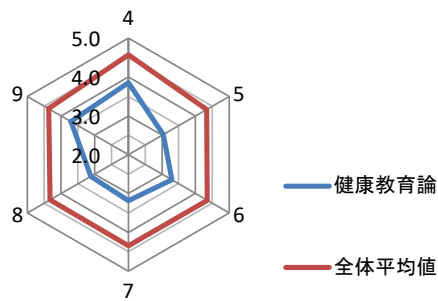
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	健康教育論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.4	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.4	4.0	3.6	4.4

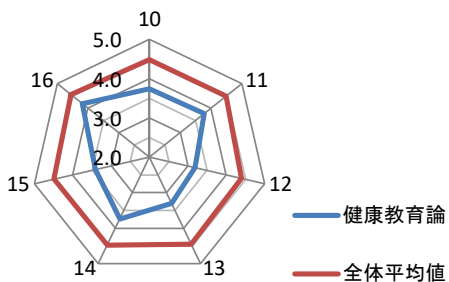
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	健康教育論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	3.9	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.0	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.3	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	3.2	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	3.1	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	3.7	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	健康教育論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.7	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	3.8	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い及び内容が適切であった。	3.2	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い及び内容が適切であった。	3.3	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	3.7	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	3.4	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.2	4.6	4.0	4.8

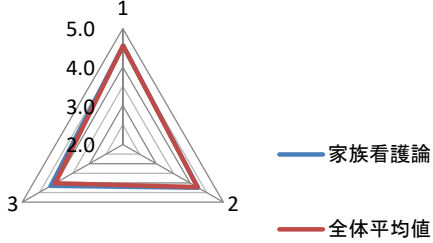
# 平成30年度第2学年後期「家族看護論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
93	83	89%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

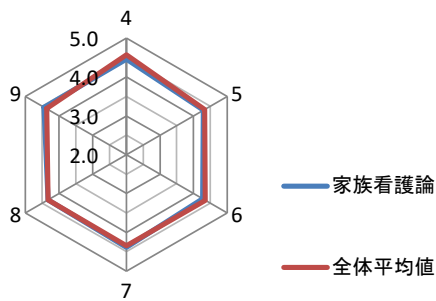
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	家族看護論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.6	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.2	4.0	3.6	4.4

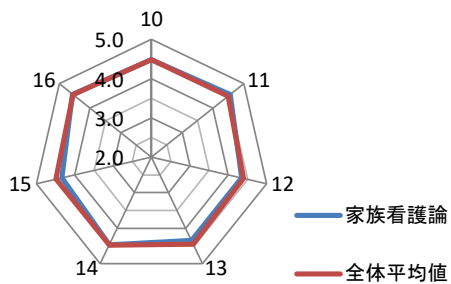
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	家族看護論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	家族看護論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.5	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.3	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.6	4.0	4.8

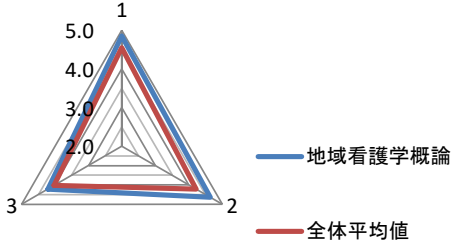
# 平成30年度第2学年後期「地域看護学概論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	56	59%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

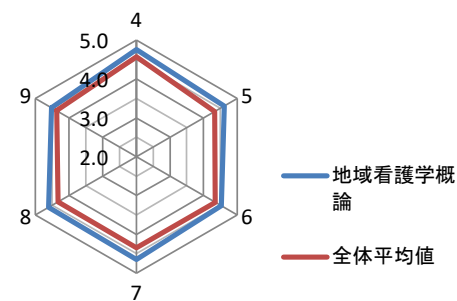
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.9	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.2	4.0	3.6	4.4

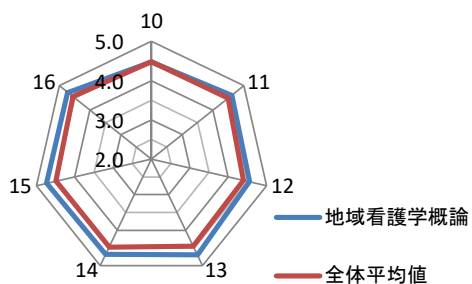
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	地域看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	地域看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.7	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.7	4.6	4.0	4.8

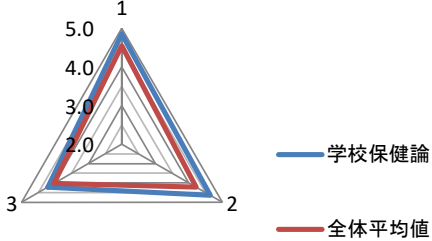
# 平成30年度第2学年後期「学校保健論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	56	60%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

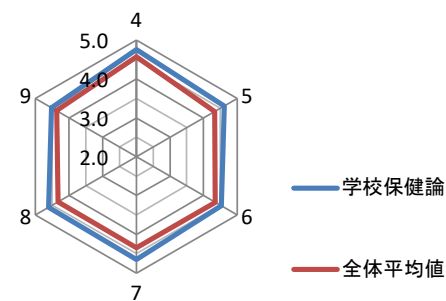
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	学校保健論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.9	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	4.2	4.0	3.6	4.4

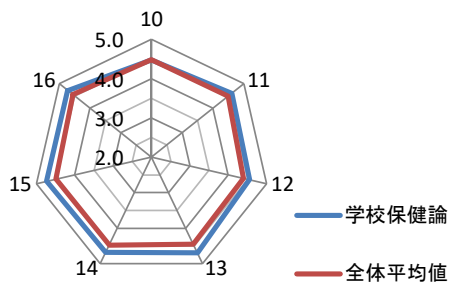
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	学校保健論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	学校保健論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.7	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.7	4.6	4.0	4.8

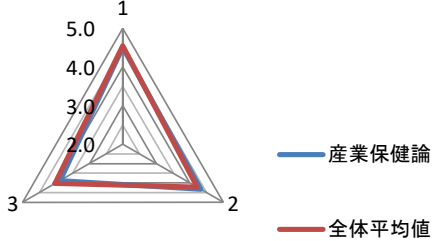
# 平成30年度第2学年後期「産業保健論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	73	78%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

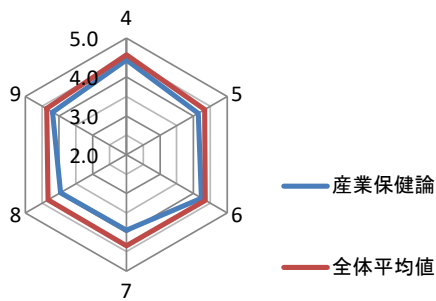
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	産業保健論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.5	4.2	4.9
2 予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.2	3.8	4.6
3 教員に授業内容について質問した	3.9	4.0	3.6	4.4

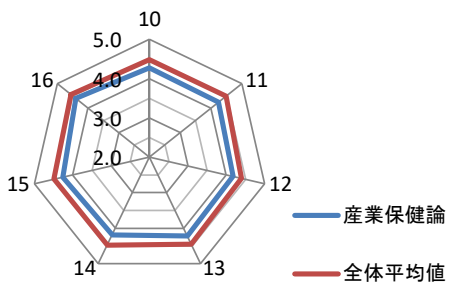
## 問2. 授業内容について



## 問2. 授業内容について

	産業保健論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.4	4.6	3.9	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.1	4.3	3.0	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.2	4.3	3.3	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	3.9	4.3	3.2	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.0	4.3	3.1	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.2	4.4	3.7	4.8

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	産業保健論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.5	3.7	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.2	4.5	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.4	3.2	4.7
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.5	3.3	4.7
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.2	4.5	3.7	4.8
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.3	4.5	3.4	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.4	4.6	4.0	4.8

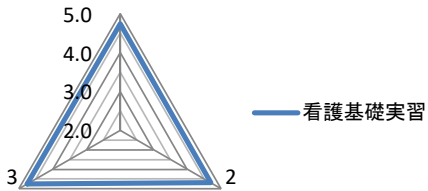
# 平成30年度第2学年後期「看護基礎実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
94	69	73%

実施時期(平成30年10月24日～平成31年1月10日)

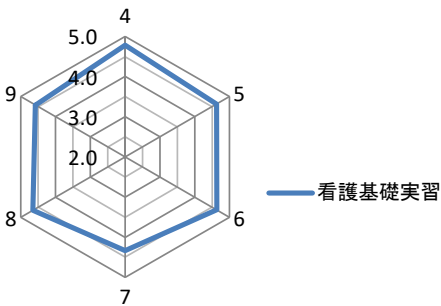
## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて



## 問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護基礎実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ	4.7	—	—	—
2 予習と復習を積極的に行った。	4.7	—	—	—
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.8	—	—	—

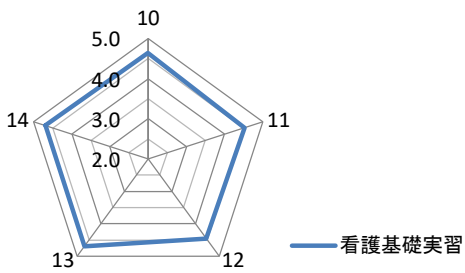
## 問2. 授業内容について



## 問2. 実習内容について

	看護基礎実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 学習目標を達成するために多くの学修体験が得られた。	4.8	—	—	—
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.6	—	—	—
6 実習記録は学修を深める上で効果的であった	4.6	—	—	—
7 課せられた実習記録や課題の量は適切であった	4.3	—	—	—
8 看護への興味や関心が高まった。	4.7	—	—	—
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.6	—	—	—

## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



## 問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護基礎実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.6	—	—	—
11 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.5	—	—	—
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.4	—	—	—
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.7	—	—	—
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が利用できるスペースは配慮されていた。	4.7	—	—	—